

CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」において 「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に3年連続で選定

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:横手喜一)は、持続可能な経済を実現させる活動を行う国際 NGO である CDP が実施したサプライヤー・エンゲージメント評価(SER)において、当社グループが気候変動課題に対して効果的にサプライヤーと協働していることを評価され、最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に3年連続で選定されました。なお、2024年2月に発表されたCDP気候変動分野全体の調査においても、当社グループは3年連続で最高評価「Aリスト」企業として選定されています。

▶参考リリース: CDPより3年連続で最高評価の「気候変動Aリスト」企業に選定(2024年2月6日)

https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news8993090330902533064/main/0/link/20240206_POHD_CDP.pdf



CDPの「サプライヤー・エンゲージメント評価(SER)」は、CDPが企業・団体に行う気候変動に関する調査のうち、4つの主要分野の質問(ガバナンス、目標、Scope3管理、サプライヤーエンゲージメント)に対する回答に基づいてサプライヤー・エンゲージメントの取り組みが評価されます。この最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」には、全世界の企業・団体のうち約450社が選定されました。

▶「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」企業の一覧はこちらから

<http://cdp.net/en/supply-chain/supplier-engagement-rating>

CDPについて

CDPは、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを有する国際的な非営利団体です。2000年の設立以来、CDPは資本市場と企業の購買力を活用することで、企業が環境影響を開示し、温室効果ガスを削減し、水資源や森林を保護することを促進する取り組みを先導してきました。現在では136兆米ドル以上の資産を保有する740を超える署名金融機関と協働しています。2023年には、世界の時価総額の3分の2に相当する23,000社以上、そして1,100以上の自治体を含む、世界中の24,000を超える組織がCDPの質問書を通じて環境情報を開示しました。CDPはTCFDに完全に準拠した質問書に基づく世界最大の環境データベースを有し、CDPスコアはネットゼロ、持続可能でレジリエントな経済を構築するために投資や調達の意味決定に広く活用されています。

▶CDPウェブサイトはこちらから

<https://www.cdp.net/ja>

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。

当社の取り組みと環境目標について

世界的に喫緊の課題となっている気候変動に対し、当社グループでは、気候変動を経営レベルのリスクかつ機会と捉え、地球・社会・環境との共生に向けた目標として、2029年度までにCO₂排出量削減を始めとする環境目標を掲げています。これはTCFD提言の情報開示フレームワークに基づいた積極的な活動の一環であり、目標達成に向けてはSBT1.5°Cシナリオの認定を取得し、当社目標の根拠を科学的に証明しています。国内外の生産拠点では100%再生可能エネルギーに由来するCO₂フリー電力への転換に加え、太陽光発電システムの増設による電力購入量の削減も実現し、またScope3削減についても特に比率の高いカテゴリ1領域を中心に削減プランを計画化しています。これらの取り組みは環境目標の達成度を役員報酬に連動する事で、コミットメントレベルと実効性を高めていることも評価されたと考えています。

【2029年ポーラ・オルビスグループ環境目標】

・CO₂排出量削減

Scope 1, 2 42%削減(排出量、基準年 2019年)

Scope 3 30%削減(排出量、基準年 2019年)

・水使用量 26%削減(総量、基準年 2019年)

・持続可能なパーム油調達 100%

・化粧品プラスチック容器・包材

4Rに基づく100%サステナブルな設計



ポーラ・オルビスグループのサステナビリティプラン

当社グループでは、2017年にグループ理念を策定すると同時に、ポーラ・オルビスグループ行動綱領の改定、理念実現のためのサステナビリティステートメントを策定しました。「先端技術・サービスによるQOLの向上」「地域活性」「文化・芸術・デザイン」の3つの軸に加え、企業の基盤となる「人材活躍」と社会的責任である「環境」を土台とした5つの領域で、非財務目標を設定しています。

当社グループでは、持続可能な事業活動を実現する事でステークホルダーの皆さまとの信頼関係を強化し、今後も企業価値の向上につなげて参ります。

関連情報

➤サステナビリティプラン 2024(2024年2月14日)

<https://www.po-holdings.co.jp/csr/data/pdf/sustainability2024.pdf>

➤サステナビリティ情報

<https://www.po-holdings.co.jp/csr/>

➤ポーラ・オルビスグループの温室効果ガス削減目標が「SBT」の認定を取得(2022年6月24日)

https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news6892753623691319094/main/0/link/20220624_POHD_SBT_s.pdf